

**平成29年度**

**事業報告書**

**事業報告附属明細書**

**社会福祉法人**

**鹿沼市社会福祉協議会**

# 目次

---

## I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立
  - (1) 会議等の開催 ..... 1
  - (2) 会員制度の勸奨 ..... 2
  - (3) 事務の効率化 ..... 2
2. 効率的で適正な施設管理・運営
  - (1) 総合福祉センターの管理運営 ..... 2

## II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化
  - (1) 社協だよりの発行 ..... 5
  - (2) 第44回鹿沼市社会福祉大会の開催 ..... 5
  - (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞 ..... 6
  - (4) 米寿記念品の贈呈 ..... 6
  - (5) 啓発物品の配布等 ..... 6
2. 関連団体等の育成と連携
  - (1) 福祉団体等の主体的な活動促進 ..... 7
  - (2) 民生委員児童委員等との連携 ..... 7
3. 支援を要する世帯等への支援
  - (1) 生活福祉資金貸付実績 ..... 8
  - (2) 社会福祉金庫貸付実績 ..... 8
  - (3) 災害等見舞金支給実績 ..... 8
  - (4) フードバンクによる支援 ..... 8
  - (5) 成年後見制度普及啓発等事業 ..... 9
  - (6) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進 ..... 9
  - (7) コーヒーサロン ..... 9
  - (8) 生活困窮者自立支援事業 ..... 10
  - (9) 「子ども食堂ネットワークかぬま」との連携 ..... 10

## III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進
  - (1) 第二期地域福祉活動計画の推進 ..... 11
  - (2) 地域の主体的な活動促進 ..... 11
  - (3) 地区社協間の連携 ..... 12
2. 安心生活創造事業の受託 ..... 12

## IV ふれあいのまちづくり

1. ボランティアの発掘と育成
  - (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり ..... 13
  - (2) ボランティア講座の開催と活動促進 ..... 13
  - (3) ボランティア団体等への支援 ..... 14
  - (4) 福祉機材の貸出 ..... 16

(5) 善意銀行の運営 .....	17
2. ふれあいの心の育成	
(1) 福祉啓発標語・ポスターの募集 .....	17
(2) 各種相談・連絡研修 .....	17
<b>V 災害対策事業</b>	
1. 平成29年7月九州北部豪雨災害への対応について .....	18
2. 災害ボランティア講座の開催 .....	18
3. 視察の受入について .....	19
4. 講師派遣について .....	19
5. 鹿沼市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施 .....	19
6. 研修等への参加 .....	19
7. 被災地支援のためのワゴン車貸出し .....	20
<b>VI 介護と自立支援</b>	
1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等） .....	21
(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス） .....	21
(3) 通所介護事業（デイサービス） .....	22
(4) 訪問入浴介護事業 .....	22
2. 在宅介護支援センターの運営 .....	22
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス） .....	23
(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業 .....	23
(3) 訪問入浴サービス事業 .....	23
<b>VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営</b> .....	24
<b>VIII 障害者支援施設「やまびこ荘」の運営</b> .....	26
<b>IX 高齢者福祉センターの運営</b> .....	28

---

**<参考資料>** .....

- 29
1. 会費（年度別状況）
  2. 総合福祉センターの利用状況
  3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県大会）
  4. 関連ボランティア
  5. 共同募金の状況
  6. 鹿沼市みまもり隊月別活動状況
  7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
  8. 障がいサービスの提供状況
  9. 高齢者福祉センター

## I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

### 1. 法人運営の確立

#### (1) 会議等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
4月 1日	理事会(第 191 回)	-	(1)常務理事の選定について
6月 2日	理事会(第 192 回)	12 名	(1)平成 28 年度事業報告の承認について (2)平成 28 年度収支決算の承認について (3)平成 29 年度第1次補正予算について (4)評議員選任・解任委員の選任について (5)評議員候補者の推薦について (6)評議員選任・解任委員会の開催について (7)理事候補者の推薦について (8)監事候補者の推薦について (9)第 170 回定時評議員会の開催について (10)会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】
6月 7日	理事会(第 193 回)	-	(1)評議員、理事及び監事の報酬等支給基準の制定について
6月 23日	定時評議員会(第 170 回)	10 名	(1)平成 28 年度事業報告の承認について (2)平成 28 年度収支決算の承認について (3)平成 29 年度第1次補正予算について (4)理事の選任について (5)監事の選任について (6)評議員、理事及び監事の報酬等の支給基準の制定について
6月 23日	理事会(第 194 回)	10 名	(1)会長の選定について (2)副会長の選定について (3)常務理事(業務執行理事)の選定について (4)評議員選任・解任委員の選任について
11月 7日	理事会(第 195 回)	-	(1)理事候補者の推薦について (2)評議員候補者の推薦について (3)評議員選任・解任委員会の開催について
11月 10日	評議員会(第 171 回)	-	(1)理事の選任について
12月 11日	理事会(第 196 回)	13 名	(1)理事の選任について【報告】 (2)評議員の選任について【報告】 (3)会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (4)副会長の選定について、 (5)社会福祉金庫貸付事業における長期貸付金の修正について (6)平成 29 年度第2次補正予算について (7)鹿沼市総合福祉センター昇降機改修工事について (8)第 172 回評議員会の開催について
12月 22日	評議員会(第 172 回)	12 名	(1)理事の選任について【報告】 (2)評議員の選任について【報告】 (3)副会長の選定について【報告】 (4)社会福祉金庫貸付事業における長期貸付金の修正について (5)平成 29 年度第2次補正予算について (6)鹿沼市総合福祉センター昇降機改修工事について
3月 20日	理事会(第 197 回)	9 名	(1)定款施行細則の一部改正の専決処分について【報告】 (2)平成29年度第3次補正予算の専決処分について【報告】 (3)会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (4)平成30年度事業計画について (5)平成30年度当初予算について (6)平成29年度第4次補正予算について

## I. 適切な法人運営と施設管理

			(7)評議員候補者の推薦について (8)評議員選任・解任委員会の開催について (9)第173回評議員会の開催について
3月28日	評議員会(第173回)	11名	(1)評議員の選任について【報告】 (2)定款施行細則の一部改正の専決処分について【報告】 (3)平成29年度第3次補正予算の専決処分について【報告】 (4)平成30年度事業計画について (5)平成30年度当初予算について (6)平成29年度第4次補正予算について

### ②監事監査

実施日	監査人	内 容
5月18日	廣瀬光行	平成28年度事業執行状況及び経理状況について

### ③内部監査の実施

実施日	監査人	内 容
2月20日	柏渕浩子、松本和明	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
2月23日	鈴木久美子	千寿荘の帳簿等各種の管理について
2月26日	野口睦	事務局の帳簿等各種の管理について
2月27日	柴田貴史	やまびこ荘の帳簿等各種の管理について

### (2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

( ) : 前年度比

会費区分	世帯数	口数	計(円)
普通会費(1口500円)	20,198件 (4%減)	20,434口 (4%減)	10,224,198円 (4%減)
賛助会費(1口2,000円)	102件 (6%増)	102口 (6%増)	204,000円 (6%増)
特別会費(1口3,000円)	39件 (11%減)	44口 (±0)	132,000円 (±0)
団体会費(1口5,000円)	78件 (8%増)	79口 (10%増)	395,000円 (10%増)
合計	20,417件 (4%減)	20,659口 (4%減)	10,955,198円 (3%減)

【参考資料 P29】

### (3) 事務の効率化

①ボランティア養成講座の一部を関係する団体に委託することで、事務の効率化を図った。

◇委託を実施した講座：手話講座、点訳講座

◇委託先 手話講座・・・鹿沼地区手話通訳者連絡会、鹿沼市聴覚障害者協会  
点訳講座・・・点訳グループ「桐」

②クールビズやウォームビズ導入によるエアコン等節電、公用車の適正管理により事務費の削減に努めた。

## 2. 効率的で適正な施設管理・運営

### (1) 総合福祉センターの管理運営

使用料の無料化、利用団体による自主管理及び、福祉団体事務室としての利用や継続利用を許可することで、施設の有効活用を図った。また、設置後30年が経過した昇降機について、部品供給の停止に伴う修理不可の状況を踏まえ、準撤去方式による修繕工事(修繕期間の3月2日～3月23日の約20日間は施設貸出を制限した)を行い利用者の利便性の向上を図った。

また、大量調理施設衛生管理マニュアルの努力規定を参考に、調理室の空調設備の改修を行い、食中毒等の対策及び調理員・ボランティアの調理環境の改善を図った。

その他では、施設の老朽化による2階排水設備の詰まりが発生し、会議室利用団体に支障をきたしたため、約1カ月間トイレの利用を停止し、排水管洗浄作業を実施、配管接合部分の締め直し等を行い、配管設備環境の改善を行った。

## ＜会議室等の利用実績＞

単位：件、人

	午前		午後		夜		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	45	302	104	778	33	301	182	1,381
中会議室	264	264	273	273	29	355	566	892
大会議室	49	1,093	73	1,591	25	676	147	3,360
和 室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	126	1,664	105	1,148	37	595	268	3,407
生きがい広場	92	1,204	93	1,237	12	206	197	2,647
団体事務室 (※下表のとおり)	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	576	4,527	648	5,027	136	2,133	1,360	11,687

【参考資料 P29】

## ＜団体事務室としての利用実績 3団体＞

平成30年3月31日現在

利用団体名	利用日数
鹿沼市ボランティア連絡協議会	8日
鹿沼市つくし会	1日
鹿沼市老人クラブ連合会	228日

## ＜継続利用許可団体 3団体＞

平成30年3月31日現在

団 体 名	代 表 者
一般社団法人 鹿沼歯科医師会	相 馬 英 人
鹿沼市ボランティア連絡協議会	宇賀神 伴 吉
鹿沼市老人クラブ連合会	小 島 正 男

I. 適切な法人運営と施設管理

<自主管理登録団体 31団体>

平成30年3月31日現在

団 体 名	代 表 者	
北部地区民生委員児童委員協議会	会長	斎藤 陽子
中央地区民生委員児童委員協議会	会長	吉川 洋子
東部地区民生委員児童委員協議会	会長	原 芳子
鹿沼市ボランティア連絡協議会	会長	宇賀神 伴吉
鹿沼市老人クラブ連合会	会長	小島 正男
鹿沼市老人クラブ連合会女性部	代表	並木 洋子
一般社団法人 鹿沼歯科医師会	会長	相馬 英人
鹿沼地区手話通訳者連絡会	会長	星野 正人
鹿沼市身体障害者親交福祉会	会長	葉山 廣
鹿沼市手をつなぐ育成会	会長	岩瀬 昭子
鹿沼市つくし会	会長	吉村 アヤ子
鹿沼市聴覚障害者協会	会長	滝沢 克明
鹿沼市聴覚障害者協会デフサロン	役員	滝沢 時江
鹿沼市中途失聴難聴者協会	会長	矢野 美津子
お話ボランティアネットワーク	代表	指田 花子
要約筆記サークルいちご	代表	福田 清美
鹿沼市要約筆記者連絡会	会長	吉川 洋子
朗読グループ「いずみ」	会長	阿部 洋子
デイジー「こだま」	会長	稲葉 幸枝
ボランティアグループ「チームかぬま」	代表	山ノ井 濱市
傾聴ボランティア“ありのまま”グループ	会長	黒川 貢
介護服リフォーム「ミモザ」	代表	須田 陽子
点訳グループ「桐」	会長	須田 陽子
鹿沼精神保健ボランティア「水の輪会」	会長	大坪 朋子
手話サークル「さくら」	会長	山口 美江子
子育て支援クラブ「レインボー」	代表	渡邊 道子
鹿沼市関連法人職員労働組合	委員長	駒場 政貴
鹿沼地区介護支援専門員連絡会	会長	柴原 直人
栃木県オストミー協会	会長	岩田 順三郎
鹿沼民話の会	会長	荻原 順子
(公社)栃木県断酒ホトトギス会西部断酒会鹿沼支部	会長	前澤 清

## II. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。  
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根、歳末助け合い）の配分金を財源として実施した。>

### 1. 福祉啓発の充実・強化

#### (1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

#### <「社協だより」の発行状況>

号数	発行日	主な掲載内容
第 214 号	6 月 26 日	◇社協会員募集 ◇「災害ボランティアセンター活動記録」・「災害ボランティアセンター活動計画」各概要 ◇2 地区社協活動紹介 ◇第 16 回ふれあいフェスタ in かぬま ◇善意銀行預託状況 ◇「フードバンクかぬま」からのお願い ◇講座・講習会・災害ボランティアバス参加者募集 ◇第 44 回鹿沼市社会福祉大会開催決定 他
第 215 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇平成 28 年度事業報告 ◇平成 28 年度決算報告 ◇鹿沼市社協役員・評議員紹介 ◇会長ご挨拶 ◇鹿沼市高齢者福祉センターから修繕工事のお知らせ ◇平成 30 年度鹿沼市社協新規職員募集 他
第 216 号	11 月 24 日	◇生活相談支援センター「のぞみ」 ◇鹿沼でも「子ども食堂」オープン ◇善意銀行預託状況 ◇学校助成配分金交付しました ◇平成 29 年度福祉標語・ポスター審査結果発表 ◇11 地区社協活動紹介 ◇認知症について頼りになる人第 1 号 ◇「フードバンクかぬま」からのお願い 他
第 217 号	1 月 25 日	◇平成 30 年年始のご挨拶 ◇理事・評議員の異動のお知らせ ◇高校生チーム「Team Can Do」がスタート ◇善意銀行預託状況 ◇24 時間テレビより訪問入浴車両を寄贈 ◇サタ DE マークリスマス実施報告 ◇4 地区社協活動紹介 ◇昇降機改修工事のご案内 ◇認知症について頼りになる人第 2 号 他
第 218 号	3 月 26 日	◇平成 30 年度社協会費目標額 ◇平成 29 年度共同募金運動結果報告 ◇認知症について頼りになる人第 3 号 ◇地域包括ケアについて① ◇善意銀行預託状況 ◇南押原で新たな地域づくりがスタート ◇「第 17 回ふれあいフェスタ in かぬま」開催決定 ◇平成 30 年度ボランティア活動保険のお知らせ ◇かぬま社協だより点訳版発行 他

#### (2) 第 44 回鹿沼市社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが参画し、共々助け合い、支えあう、思いやりのあふれる「福祉のまち鹿沼」の実現を目指し、社会福祉関係者が一堂に会し、鹿沼市社会福祉大会を開催した。

◇開催日：平成 29 年 7 月 8 日

◇会場：鹿沼市民文化センター 大ホール

◇来場者数：600 名

◇共催：鹿沼市

第 1 部 式典

① 大会会長表彰受賞者（合計 9 名・1 団体）



## II. 総合的な福祉事業の推進

- ・社会福祉功労者 3名・1団体
- ・自立更生者 2名
- ・長期介護者 4名

② 大会会長感謝状受賞者（合計9名・3団体）

- ・社会福祉推進者 8名
- ・善行協助者・団体 1名
- ・篤行者団体 3団体

第2部 講演会 講師：戦場カメラマン 渡部 陽一氏

【参考資料 P29】

### (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

多年にわたって社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、社会福祉のさらなる発展を期して、栃木県民福祉のつどいが開催され、本市の功労者が表彰された。

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 平成29年8月29日（火）

会場 宇都宮市文化会館 大ホール

① 栃木県知事表彰受賞者

- ・民生委員・児童委員 2名
- ・共同募金運動協力団体又は協力者 1名
- ・社会福祉施設・団体又はその従事者 4名
- ・難病支援功労者 1名

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者

- ・社会福祉施設・団体関係功労者 32名

③ 栃木県共同募金会会長表彰受賞者

- ・共同募金功労者 6名

【参考資料 P30】

### (4) 米寿記念品の贈呈

満88歳（昭和4年4月2日～昭和5年4月1日の生まれ）を迎えられた高齢者に、平成29年7月8日に開催された第44回鹿沼市社会福祉大会の第1部式典において記念品を贈呈し、米寿を祝った。

◇贈呈者数：579名（男180名・女399名）

### (5) 啓発物品の配布等

① 交通安全「赤い羽根の鈴」の配布

「交通安全赤い羽根の鈴」を市内の児童福祉施設に配布し、子供たちの福祉の心の育成と交通安全の周知に努めた。

◇配布数 2,527個（24施設）

② 交通安全「黄色い帽子」の配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、交通安全として黄色い帽子を配布した。黄色い帽子は、登下校のサポートをするスクールガードリーダーの皆さんからも、好評である。

◇配布数：770個

③ サンタクロース訪問事業

サンタクロースが在宅重度知的障害児・者の家を訪問して、クリスマスケーキをプレゼントすることによりふれあいや地域交流を促進した。

◇配布数 47個

◇協力 鹿沼中央ロータリークラブ・鹿沼市ボランティア連絡協議会

2. 関連団体等の育成と連携

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある活動を支援し、自主的な団体活動を促進した。

<支援実績>

(単位:円)

区 分	支援団体数	金額
老人福祉団体支援	2 団体	70,000 円
障害児・者福祉団体支援	9 団体	370,000 円
児童・青少年福祉団体支援	34 団体	1,010,000 円
母子・父子福祉団体支援	1 団体	50,000 円
ボランティア団体支援	1 団体	200,000 円
その他の福祉団体	1 団体	50,000 円
合 計	48 団体	1,750,000 円

(2) 民生委員児童委員・福祉事務所等との連携

地域の生活実態と市民意識を把握するため、歳末たすけあい運動において民生委員児童委員協議会連合会・福祉事務所等との連携を図り各種の事業を展開した。

<歳末たすけあい運動における調査・支援実績>

(単位:円)

援助対象	援助内容	対象数	単価	金 額
①支援を必要とする世帯	援助金 (世帯主分)	203	5,000	1,015,000 円
	援助金 (世帯主以外)	442	2,000	884,000 円
	援助金 (小中学校進学児童)	25	5,000	125,000 円
②ねたきり高齢者介護者	援助金	3	5,000	15,000 円
③認知性高齢者介護者	援助金	5	5,000	25,000 円
④ひとりぐらし高齢者	援助金	101	5,000	505,000 円
⑤市内福祉施設通所者	援助金	171	3,500	598,500 円
⑥在宅重度知的障害児・者 (サンタクロース訪問事業)	クリスマスケーキ	47	3,500	164,500 円
⑦心身障害児通園ホーム通所者	おもちゃ券	116	2,000	232,000 円
合 計		1,113		3,564,000 円

※①～⑤までは、援助金を商品券(鹿沼商工会議所・粟野商工会)に替えて配布。商品券については、一部割引を受けて購入しているため、配布額と購入に係る支出額は異なる。

## II. 総合的な福祉事業の推進

### 3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

#### (1) 生活福祉資金貸付実績

資金種類		相談 件数	借入申請		貸付決定		貸付否決	
			件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
総合支援資金	生活支援費	5	1	300,000	1	264,000	0	0
	住宅入居費	1	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	1	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	5	0	0	0	0	0	0
	緊急小口資金	7	0	0	0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費	4	1	624,000	1	624,000	0	0
	就学支度費	1	1	192,000	1	192,000	0	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0
合計		24	3	1,116,000	3	1,080,000	0	0

#### (2) 社会福祉金庫貸付実績

貸付件数	貸付金額(円)
29	556,000円

#### (3) 災害等見舞金支給実績

区分	件数	単価(円)	金額(円)
風水害(半壊)	0	5,000	0
風水害(流出)	0	10,000	0
風水害(床上浸水)	0	5,000	0
風水害(弔慰金)	0	10,000	0
火災(半焼)	4	10,000	40,000
火災(全焼)	4	20,000	80,000
火災(半壊)	0	5,000	0
火災(全壊)	0	10,000	0
火災(弔慰金)	2	10,000	20,000
住所不定者(旅費)	3	500	1,500
合計	13	—	141,500

#### (4) フードバンクによる支援

市民の方々からご寄付していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

食品の寄贈 345件

食品の配布先 244件

(5) 成年後見制度普及啓発等事業

判断能力が、不十分で意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度における法人後見事業（鹿沼市社会福祉協議会が成年後見人等を受任すること）を実施した。また、栃木県社会福祉士会及び鹿沼市内の各地域包括支援センターの協力のもと、福祉関係者向けの成年後見制度普及啓発講座を実施した。

○法人後見事業受任件数

類型		受任件数
内訳	後見	9件
	保佐	5件
	補助	1件
合計		15件

○成年後見制度普及啓発講座

とき 平成29年12月13日（水）  
 ところ 鹿沼市民情報センター 学習室1・2・3  
 参加者 60名

(6) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 平成30年3月31日現在

電話相談	3,095件
来所相談	217件
訪問相談	9件
新規相談訪問調査・ケース会議参加等	144件
合計	3,465件

<支援実績> 平成30年3月31日現在

通常支援回数： 1,412回

<契約実績> 平成30年3月31日現在

H28年度契約総数	H29年度新規契約数	H29年度解約数	現契約数
83件	11件	14件	80件

(7) コーヒーサロン

ボランティアの育成と市民活動促進を図ることを目的にコーヒーサロンを実施した。

日時：平成29年10月24日（火）午後6時30分

場所：総合福祉センター2F 大会議室

講師：ポラリス・とちぎ 中野 謙作 氏

テーマ：「大人のひきこもり」について

参加者：22名

## II. 総合的な福祉事業の推進

### (8) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員4名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や学習支援も合わせて行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。また、新たに家計相談員を配置し、より幅広い相談に対応出来る体制づくりに努めた。

<相談対応実績> 平成30年3月31日現在  
相談件数：242件（うち就労者数：33名）

相 談 内 容	件 数
病気や健康	17
住まい	14
収入・生活費	113
家賃やローン	8
税や公共料金支払い	9
債務	2
仕事探し、就職	15
仕事上の不安	4
地域と関係	1
人間関係	2
子育て、介護	14
引きこもり、不登校	4
DV、虐待	3
食べるものがない	1
その他	35
合 計	242件

活動内容 (延件数)

面接	訪問	関係機関同行
516件	471件	213件

### (9) 「子ども食堂ネットワークかぬま」との連携

市内にある5か所の子ども食堂（1か所は開設予定）で組織する「子ども食堂ネットワークかぬま」定例会へ参加。

## Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

### 1. 地区社協の活動支援と連携促進

#### (1) 第二期地域福祉活動計画の推進

平成 24 年度に策定した第二期鹿沼市地域福祉活動計画（計画年度 25～29 年度）に基づき、市内 17 地区の地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

#### <補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額
板荷地区コミュニティ推進協議会	ボランティア活動推進事業	120,000 円
粕尾地区福祉活動推進協議会	福祉まつり事業	162,000 円
東大芦地区コミュニティ推進協議会	見守り事業	107,560 円
永野地区福祉活動推進協議会	高齢者サロン事業	100,000 円
中央地区福祉活動推進協議会	災害時要援護者対応事業	100,000 円
西大芦地区福祉活動推進協議会	健康づくり事業	110,440 円
南摩地区福祉活動推進協議会	①地域活動に参加できる環境づくり ②健康づくり事業 ③なんまサロンの実施	①40,000 円 ②20,000 円 ③22,000 円
加蘇地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	113,724 円
清洲地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業・三世代交流事業	30,138 円
東部地区福祉活動推進協議会	緊急・災害時の助け合いの仕組み作り	94,760 円
北犬飼地区福祉活動推進協議会	地域交流事業	79,378 円
合 計		1,100,000 円

#### (2) 地域の主体的な活動促進（ふれあいと創造・サービス事業）

市内の 17 地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会を対象に、助成金を交付し、それぞれの地区社協活動を支援し、地域の特性を生かした主体的な活動を促進した。

#### <地区社協への委託実績>

地区社協名	主な事業内容	助成金額
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇北小学校交流会	1,072,000 円

### III. 地域福祉活動の推進

中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業 ◇青少年健全育成	1,272,550 円
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業 ◇環境美化運動	1,535,600 円
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世代交流事業 ◇ふれあい祭り	1,593,650 円
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇ふれあいフェスタ ◇ふれあいウォークラリー事業	494,850 円
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,369,100 円
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	385,150 円
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	286,050 円
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇高齢者招待事業	401,900 円
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇満 88 歳祝い贈呈 ◇そば打ち教室	793,050 円
東部台地区福祉活動推進協議会	◇健康スポーツ大会 ◇敬老会	1,591,300 円
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	512,550 円
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇研修会	645,800 円
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇ふれあい福祉まつり	567,500 円
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあい福祉まつり	362,450 円
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇ふれあい福祉まつり	339,600 円
清洲地区福祉活動推進協議会	◇年越しそば配布 ◇ふれあい福祉まつり	403,900 円
合 計		13,627,000 円

※「給食サービス」は全地区で実施

#### (3) 地区社協間の連携

17 地区社協合同連絡会議を開催し、地区社協間の連絡調整や情報交換などを行った。

第 1 回 平成 29 年 5 月 22 日 会長・事務担当合同会議

第 2 回 平成 29 年 10 月 31 日 会長・事務担当合同会議

#### 2. 安心生活創造事業(鹿沼市みまもり隊)の受託

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内 17 地区において見守り・相談活動を実施した。また、県外より視察を受け入れ、事業概要とその成果をアピールした。【参考資料 p31】

①見守り・相談延べ回数(鹿沼市全体): 49,936回

②研修受け入れ: 平成 29 年 11 月 16 日(火) 埼玉県川越市大東地区社会福祉協議会

## IV. ふれあいのまちづくり

各種イベントやボランティア講座の開催などをおし、市民相互の助け合いを促進するとともに、人と人との交流の輪を広げるなどした。

### 1. ボランティアの発掘と育成

#### (1) ボランティア団体等の支援とネットワークづくり

「第16回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援

一人ひとりが力を合わせて行う手作りの祭典「ふれあいフェスタ in かぬま」の開催を支援し、福祉の心の育成と人々のふれあいの輪を広めた。

◇開催日：平成29年4月23日（日）

◇会場：市民情報センター1階及び駐車場

◇実施主体：第16回ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会

◇来場者数：1,000人

#### (2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象とし、幅広いテーマと具体的な体験学習をとおしてボランティア育成に努めた。

##### エンディングノート講座

テーマと講師	日 時	参加人数
「エンディングノートを書いてみよう」 講師：話の聞き方（傾聴）教室 傾聴ハピネス 代表 渡邊 純子	10/19（13:30～15:30） 会場：総合福祉センター	21名

##### はなしの聴き方講座

テーマと講師	日 時	参加人数
「高齢者と会話がはずむ方法教えます！」 講師：話の聞き方（傾聴）教室 傾聴ハピネス 代表 渡邊 純子	2/19（13:30～15:30） 会場：総合福祉センター	21名

講座名	回数	受講者数		備 考	
		延べ人数			
手話講座 （初級）	昼の部（4/24～）	10回	12名	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会	
			117名		
	夜の部（4/24～）	10回	16名		
点訳講座 （初級）	昼の部（9/1～）	10回	126名		講師：点訳グループ「桐」
			10名		
			71名		
	昼の部（10/4～）	10回	3名		
			28名		
小学生ミニ福祉講座	3回		57名	セラピードッグ	
中高生ボランティアスクール	3回		29名	ブラインド・ウォーク 要約筆記 車いすバスケット	
合計（4講座）	46回		127名		
			428名		



#### IV. ふれあいのまちづくり

##### ②学校での体験学習開催

小中学校からの依頼に応じ、職員が講師となり校内で体験学習を開催した。

日時	学校名	内容	参加者数
6月7日	東小学校	車いす、視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	122名
7月5日	西中学校	高齢者について、障がい者 について、施設訪問時の注 意について（講話）	131名
7月14日	中央小学校	車いす、視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	64名
11月15日	南摩小学校	車いす、視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	40名

##### ③学校での体験学習支援

小中学校、高校のボランティア学習に講師派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	23校（101回）	24校（41回）
中学校	2校（16回）	2校（12回）
高等学校	2校（10回）	0校（0回）
合計	27校（127回）	26校（53回）

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

#### (3) ボランティア団体等への支援

##### ①ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等 20 団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

団体名	援助金該当事業	交付額
鹿沼精神保健ボランティア「水の輪会」	研修会・交流会・養成講座・絵画展	50,000円
鹿沼地区手話通訳者連絡会	レベルアップ講座	95,000円
鹿沼そば商組合	高齢者・障がい者施設への慰問活動	44,000円
お話ボランティアネットワークかぬま	高齢者施設・個人宅訪問、会員研修	50,000円
介護服リフォーム“ミモザ”	障がい者・高齢者の衣服リフォーム	45,000円
点訳グループ「桐」	視覚障がい者との交流会、研修会	100,000円
ボランティアふれあい	高齢者との生きがい活動	100,000円
要約筆記サークルいちご	会員のスキルアップ研修、聴覚障がい者との交流講座	100,000円

朗読グループいずみ	ボランティア養成講座及びスキルアップ研修	54,000円
ボランティアグループ春風	芸能活動による高齢者施設等の訪問活動	30,000円
フラダンスとりあえず	福祉施設への慰問活動	50,000円
栃木県シルバー大学校中央校同窓会鹿沼支部	公共施設への慰問活動	35,000円
たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	介護施設へのボランティア活動(踊り・健康体操)	50,000円
子育て支援クラブレインボー	子育てサロン・子育て講座・地域イベントの参加	100,000円
災害ボランティア「チームかぬま」	被災地での支援活動及び各種ボランティア活動	50,000円
日本舞踊 西川流 宮崎会	福祉施設等への慰問活動(唄・踊り)	20,000円
デイジーこだま	視覚障がい者を対象とした「広報かぬま」のデイジー版作成	30,000円
プリティーワールドボランティアグループ	公演活動(腹話術等)	30,000円
鹿沼中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者の手話講習会	50,000円
ボランティアグループ「あった会」	ボランティア活動及び交流協働活動	30,000円
合 計	20団体	1,113,000円

②学校助成金配分金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、学校助成金配分金を12校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額
1	鹿沼市立東小学校	地域貢献活動	98,000円
2	鹿沼市立北小学校	福祉体験学習	65,000円
3	鹿沼市立津田小学校	福祉体験学習	47,000円
4	鹿沼市立さつきが丘小学校	福祉体験学習、社会貢献活動	89,000円
5	鹿沼市立板荷小学校	地域高齢者との交流	33,000円
6	鹿沼市立南摩小学校	福祉体験学習	35,000円
7	鹿沼市立上南摩小学校	高齢者・障がい者との交流	27,000円
8	鹿沼市立栗野小学校	福祉体験学習、高齢者との交流事業	39,000円
9	鹿沼市立清洲第一小学校	福祉体験学習、高齢者との交流	30,000円
10	鹿沼市立板荷中学校	高齢者との交流活動	28,000円
11	鹿沼市立南摩中学校	幼少者・高齢者との交流活動	32,000円

IV. ふれあいのまちづくり

12	鹿沼市立栗野中学校	地域ボランティア活動、高齢者との交流活動	46,000 円
合 計			569,000 円

(4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

<機材別貸出実績>

機材名	貸出回数	機材名	貸出回数
車椅子	165 回	クーラーボックス	10 回
高齢者疑似体験セット	6 回	テント	12 回
アイマスク	5 回	タープテント	5 回
白杖	7 回	表彰盆	1 回
貸出用パソコン	0 回	演台	0 回
スクリーン	18 回	胸章	1 回
プロジェクター	19 回	募金箱	0 回
OHC・OHP	1 回	旗用ポール&スタンド	0 回
プレックストーク・プレックスコピー	0 回	拡声機・ワイヤレスマイク	1 回
デイジー用変換機・HD	0 回	ベンチ	1 回
デイジー用マイク・マイクスタンド	0 回	パイプ椅子	3 回
手話・点字パネル・点字盤	1 回	机	2 回
展示用パネル一式	0 回	カラーコーン	1 回
写真パネル	1 回	ウレタン製組立マット	0 回
教材 DVD	1 回	缶バッジマシーン	2 回
ボランティア号	31 回	ゲートボールセット	1 回
着ぐるみ	12 回	誘導棒	2 回
綿菓子機	49 回	透明ポリタンク	0 回
ポップコーン機	37 回	ガソリン携行缶	0 回
キャラメルポップコーン機	3 回	作業用具	1 回
かき氷機	35 回	発電機	6 回
焼きいも機	2 回		
うす・きね	3 回		
水槽	5 回		
ドラムコード	2 回	合計	452 回

(5) 善意銀行の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、預託いただいた金品の払出しにより、団体等の活動基盤を強化した。

<預託金品取扱実績>

単位：件、円

払出し先	28年度繰越金	29年度預託		29年度払出		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指定なし	2,546,498	38	1,266,504	2	1,682,000	2,131,002
社会福祉団体	0	2	129,762	2	129,762	0
社会福祉施設	0	5	148,321	5	148,321	0
被災者支援	0	0	0	0	0	0
預金利息	0	2	22	1	22	0
合計	2,546,498	47	1,544,609	10	1,960,105	2,131,002
物 品	車いす(2台)、お菓子(合計4箱)、タオル(合計806本)、お菓子(60個)、カフェオレ缶(60本)、スポーツドリンク(20×6本×3ケース)、お菓子詰合せ(25袋)、筆記用具(69本)、お菓子(合計5袋)、自転車(1台)、どらやき(100個)、缶コーヒー(6本)、助六寿司折(50個)		東京愛隣会、鹿沼市社会福祉協議会、鹿沼市社協フードバンクかぬま、鹿沼市やまびこ荘、児童養護施設ネバーランド、あづま保育園、さつきが丘保育園、板荷児童館、グリーンチャイルドクラブ、南保育園、ちびっこランド鹿沼園、まなぶ保育園、なんま保育園、清洲保育園、ひなた保育園、大地の恵みのなーさりい、栗野保育園、にっこり保育園、聖母幼稚園、永野保育園、保育園すまいるくりえいと、津田保育園、青い鳥幼児園、子ども食堂、あおば園			

2. ふれあいの心の育成

(1) 福祉啓発標語・ポスターの募集

小・中学生を対象に福祉標語及びポスターを募集することにより、子どもたちの福祉への理解啓発を図った。最優秀作品はポスターにして、市内の施設・学校等に配布した。

<標語・ポスターの応募実績>

区 分	福祉標語		福祉ポスター		合 計
小学生の部	25校	2,490点	4校	9点	2,499点
中学生の部	6校	1,576点	1校	3点	1,579点
合 計	31校	4,066点	5校	12点	4,078点

(2) 各種相談・連絡件数

市民が地域で安心して暮らせるように、貸付、あすてらす、成年後見制度等に関する各種相談事業を実施した。

<相談・連絡実績>

単位：件

事業名	社会福祉金庫	生活福祉資金	あすてらす	成年後見制度	合 計
相談延件数	246	582	3,465	906	5,199

## Ⅴ 災害対策事業

災害ボランティア講座の開催や、「鹿沼市災害ボランティアセンター活動計画」改定後初の災害ボランティアセンター立上訓練の実施、また遠方の被災地への職員派遣など、いざというときに備えた活動を行った。

### 1. 平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害への対応について

平成 29 年 7 月 5 日に発生した九州北部豪雨災害において、職員 2 名を派遣した。

#### (1) 職員派遣

日 程	活動場所	活動内容	備 考
7 月 31 日～8 月 6 日	福岡県朝倉市	被災現場の復旧作業支援	チームかぬまと同行

#### (2) 街頭募金の実施

「現地には行けないがなにか自分たちにできることはないか」という市民の気持ちにこたえるため、九州北部豪雨災害支援を目的とした街頭募金を実施した。

開催日 平成 29 年 7 月 15 日 9 時～11 時  
 会 場 まちの駅・新鹿沼宿  
 協力団体 鹿沼市ボランティア連絡協議会、チームかぬま、ボーイスカウト鹿沼第 1・4 団  
 鹿沼青年会議所  
 募金額 107,340 円

### 2. 災害ボランティア講座の開催

増大する自然災害の発生に備え、災害ボランティア養成講座を開催した。

#### ①南相馬市災害ボランティアバス

開催日 平成 29 年 7 月 20 日  
 内 容 参加者を公募し、南相馬市災害復興復旧ボランティアセンターを通じて被災地での復旧作業を行った。  
 会 場 福島県南相馬市  
 参加者 13 名

#### ②災害とペット講座「地震だ！水害だ！ペットはどうする！？」

開催日 平成 30 年 2 月 24 日  
 内容 災害時にペットの飼い主はどうしたらよいのか、ペットの同行避難をテーマに講座を開催  
 会場 菊沢コミュニティセンター 第 1 研修室  
 講師 特定非営利活動法人アナイス 代表 平井潤子氏  
 参加者 15 名

### 3. 視察の受入について

鹿沼市災害ボランティアセンターの対応をテーマに、各地区からの視察を受け入れた。

日 時	団 体 名
5月11日	みなかみ町社会福祉協議会（群馬県）
6月25日	佐野市青少年育成事業
6月29日	南部町民生委員児童委員協議会（山梨県）

### 4. 講師派遣について

災害をテーマにした講座の講師依頼を受け、職員を講師として派遣した。

日 時	団 体 名	講 座 名
8月27日	大田原市社会福祉協議会	災害ボランティア研修会
12月12日	加蘇地区学校安全安心連絡会	加蘇地区の防災を考えよう
2月6日	伊勢崎市社会福祉協議会	災害・防災研修会
3月28日	さくら市社会福祉協議会	災害ボランティア養成講座

### 5. 鹿沼市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施

28年度に改訂された「鹿沼市災害ボランティアセンター活動計画」に基づき、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行った。

開催日 平成30年3月11日（日）

内容 職員とボランティアが協働し、災害ボランティアセンターの設置と、ボランティアの受け入れ訓練を行った。

協力団体 鹿沼青年会議所、宇都宮大学、鹿沼市ボランティア連絡協議会、災害ボランティア「チームかぬま」 要約筆記サークルいちご

### 6. 研修等への参加

職員の資質向上と参加によるネットワークの構築を目的として、各種研修等に参加した。

- ① 災害ボランティアセンター運営者研修（主催 全国社会福祉協議会）  
参加日 9月4～5日 長野県
- ② とちぎ災害ボランティアセンター実践プロジェクト（主催 栃木県社会福祉協議会）  
参加日 5月25日、7月20日、9月29日、11月8日、12月15日、1月12日、  
2月13日、3月20日
- ③ 災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）  
参加日 6月6日
- ④ 災害ボランティアセンター運営研修会（主催 栃木県社会福祉協議会）  
参加日 12月18日
- ⑤ 防災・減災を考えるシンポジウム（主催 下野新聞社）  
参加日 2月8日
- ⑥ 栃木県立小山城南高校 HUG 訓練（主催 小山城南高校）  
参加日 2月22日

### 7. 被災地支援のためのワゴン車の貸出し

継続的なボランティア活動のため、ワゴン車を災害ボランティアグループ「チームかぬま」に貸出した。ワゴン車を利用したチームかぬまの活動は下記のとおり。(貸出回数 8回)

主な活動内容	活動場所
新潟中越沖地震被災地復興支援	新潟県長岡市(2)・宮城県石巻市(1)
東日本大震災被災地支援	福島県南相馬市(3)
九州北部豪雨災害支援	福岡県朝倉市(1:職員同行)
チームあだち防災研修会	群馬県富岡市(1)

## VI. 介護と自立支援

介護保険指定事業者として常に質の高い在宅サービスの提供に心がけ、各種介護保険事業を推進した。また、介護予防・自立支援事業に取り組み、ねたきりや要介護状態への進行を防止するなど高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を支援した。さらに障がい者のための居宅介護・訪問入浴事業を推進した。

### 1. 介護保険事業の推進

#### (1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに地域包括支援センターから介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会事務局やとちぎケアマネージャー協会部の会員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

#### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ数）
居宅介護支援	952回
介護予防支援	156回
合 計	1,108回

【参考資料 P32】

#### <介護区分別実利用者数>

平成 30 年 3 月 31 日現在

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
0人	4人	8人	17人	30人	20人	5人	8人	92人

#### (2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

幅広い分野に渡る生活支援と土・日・祝日や時間外の対応など、利用者のニーズに即したサービスを提供した。また、利用者の生活意欲の向上と残存機能を生かしたサービス提供など、予防介護に努めた。さらに、サービス担当者会議等をとおし、関係機関との連携とより質の高いサービスの研鑽・提供に努めた。

#### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ数）
介護支援	3,015回
介護予防支援	1,339回
合 計	4,354回

【参考資料 P32】

#### <介護区分別実利用者数>

平成 30 年 3 月 31 日現在

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0人	8人	8人	10人	8人	1人	1人	1人	37人



## VI. 介護と自立支援

### (3) 通所介護事業（デイサービス）

月例お誕生会、季節行事、ボランティアの協力による催し物など、デイサービスセンターで日中楽しく過ごしていただき、少しでも自宅で自立した生活ができるように、ご家族の負担を軽減できるようなサービスの提供を行うとともに、利用者の拡大に努めた。

#### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ数)
介護支援	3,081回
介護予防支援	391回
合 計	3,472回

【参考資料 P32】

◇年間実施日数..... 249日

◇1日あたりの平均利用者... 13.9人

◇協力ボランティア数..... 団体数：8団体、個人数：4人（年間実施回数 77回）

#### <介護区分別実利用者数>

平成30年3月31日現在

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	3人	6人	6人	8人	2人	3人	28人

### (4) 訪問入浴介護事業

移動入浴車による訪問入浴サービスの提供により、要介護者を抱える家族の負担軽減を図った。

また、競合する事業所が増加する中、サービスに対する満足度を高めつつ利用者の固定化を進めた。

#### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ数)
介護支援	535回
介護予防支援	1回
合 計	536回

【参考資料 P32】

#### <介護区分別実利用者数>

平成30年3月31日現在

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	0人	1人	1人	2人	3人	6人	13人

## 2. 在宅介護支援センターの運営

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるような情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

#### <相談対応実績（延人数）>

平成30年3月31日現在

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
15人	1人	0人	2人	2人	4人	26人	50人

### 3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密に、生活意欲を引き出し、残存機能を生かし自立した日常生活が営むことができるよう支援をした。

#### (1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障がい者宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や家事援助、生活に関する相談及び助言などを行った。

平成 30 年 3 月 31 日現在

実利用者数		利用回数
居宅介護等	7 人	523 回
同行援護	8 人	271 回

【参考資料 P32】

#### (2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

ご本人やご家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談、また障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。さらに鹿沼市自立支援協議会相談支援部会や県西圏域連絡会へ参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。

平成 30 年 3 月 31 日現在

サービス名	実利用数
指定特定相談支援	31 件
指定障害児相談支援	0 件

【参考資料 P32】

#### (3) 訪問入浴サービス事業

地域生活支援事業により移動入浴車で居宅に訪問し、訪問入浴サービスを提供した。

平成 30 年 3 月 31 日現在

実利用者数		利用回数
訪問入浴サービス	3 人	196 回

【参考資料 P32】

## Ⅶ 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動、交流会を充実させ、地域や社会との結びつきを大切にした運営を図った。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、今年度は該当者がなかった。4期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行うことが出来た。

### (1) 利用者の状況

- ◇利用者数 43名 平成30年3月31日現在
- ◇年間異動者数 14名（新規入所7名、退所7名）
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 0名

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	43	42	43	44	44	43	43	43	43	43	44	43
緊急一時避難者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 年間行事実績

月	日	行事内容	参加者数
4月	6日	花見会	全員
	23日	ふれあいフェスタ in かぬま	4名
	27日	地域老人とのカラオケ交流会（花岡町共寿会 11名、日吉町寿会 20名）	全員
	29日	天理教清掃奉仕活動の受入れ（91名）	
5月	18日	日帰りレクリエーション（栃木・佐野）	4名
	30日	中央小学校4年生訪問・交流（30名）	
6月	7日	やちよ会奉仕作業（ゴミ拾い）	13名
	9日	シルバー大学同窓会鹿沼支部訪問・交流（9名）	全員
7月	25日	納涼祭（盆踊り）	全員
8月	3日	鹿沼南高校 家庭クラブ・郷土芸能部訪問・交流（19名）	
	20日	敬老式	全員
9月	3日	シルバー人材センター中央第一地区除草奉仕作業の受入れ（19名）	
10月	19日	西中学校3年生交流学習受け入れ（16名）	
	19日	鹿沼そば商組合手打ちそば提供・訪問（5名）	全員
	23日	そば招待（日晷そば）	20名
	24日	地域老人との観劇・カラオケによる交流会（花岡町共寿会5名、日吉町寿19名）	

	27日	日吉保育園日本太鼓の訪問・交流 (30名)	
	31日	日帰りレクリエーション (日光・那須方面)	2名
11月	1日	日帰りレクリエーション (日光・那須方面)	2名
	1日	西中学校3年生交流受け入れ (16名)	
	2日	日帰りレクリエーション (日光方面)	5名
	14日	日帰りレクリエーション (ニューサンピア栃木)	14名
	15日	やちよ会道路整備	
12月	4日	富屋特別支援学校鹿沼分校中学部の訪問・交流 (22名)	
	19日	クリスマス会・忘年会	全員
1月	10日	新年祝賀会	全員
2月	21日	鹿沼市老人クラブ連合会友愛訪問 (23名)	全員

### (3) 地域等との交流

◇市内の幼稚園・保育園から高校まで交流等の受け入れを積極的に行った他、一般のボランティア団体等の訪問・交流を図り、地域における利用者との交流や施設との連携及び理解を深めることができた。

## VIII 障害者支援施設やまびこ荘の運営

利用者一人ひとりの個性と能力に沿った支援を行ない、また高齢化に伴う支援を加え、利用者が安全に楽しく生活できるよう余暇支援の充実を図ります。また、心身ともに健康な生活が営めるよう利用者の健康維持及び体力増進に努めていきます。

さらに、公的施設としての役割を認識し、事業を展開するとともに、職員の資質の向上及び施設などの資源の有効活用を図り、効率的な管理運営に努めます。

### (1) 利用者の状況(平成30年3月31日現在)

生活介護・施設入所支援	短期入所	生活介護(通所)	地域活動支援センターII
定員 30名	定員 6名	定員 10名	定員 5名
利用者数 24名	実利用者数 13名 (延利用数 816回)	実利用者数 13名 (延利用数 972回)	実利用者数 1名 (延利用数 210回)

### (2) 年間行事実績

月	日	行事内容	参加者数
4月	12日	鹿沼飲食業組合訪問(ラーメン80食)	25名
	23日	若鮎会ボランティア訪問(カラオケ)	25名
	24日	「ふれあいフェスタ in かぬま」への参加	5名
5月	9日	シルバー大学校ボランティア訪問 15名	25名
	30日	中央小学校 交流訪問学習(生徒4年生 名・教員2名)	29名
6月	28日	加蘇中学校 交流訪問学習(生徒1年生12名・教員2名)	25名
	30日	保護者合同社会見学(福島方面:あづま果樹園)	49名(保護者13名)
7月	4日	天理教清掃奉仕活動の受入れ(26名)	—
	21日	やまびこ祭り	63名(保護者15名)
9月	3日	お囃子演奏会	60名(保護者10名)
	5日	さつき手打ち蕎麦打ち会訪問(そば60食)	25名
	9日	加蘇中学校運動会への参加	4名
	16日	久我小学校運動会への参加	4名
	20日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生14名)1回目	24名
10月	11日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生14名)2回目	24名

	19日	鹿沼そば商組合訪問(そば80食、うどん20食)	24名
	23日	日晃そば招待事業	28名
	28日	加蘇中学校祭への参加	5名
11月	15日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生14名)3回目	24名
12月	3日	天理教清掃奉仕活動の受入れ(49名)	—
	10日	若鮎会ボランティア訪問(カラオケ)	22名
	25日	西中学校餅つき大会への参加	3名
平成 30年			
1月	18日	新年祝賀会	22名
	24日	特別支援学級合同発表会	3名
2月	3日	つくし会ふれあい交流会参加(ボーリング)	3名
	20日	いちご狩り	18名
3月	30日	職員お別れ会	23名
例月ボランティア		東芝ライテックユニオン(誕生者へカードや花プレゼント)、ボランティアいずみ(紙芝居ほか) 通所事業の見守り・傾聴ボランティア 各種団体余暇ボランティア(絵手紙、手芸、フラダンス、マジックショー、ほか)	
定期行事		◇地域奉仕活動(空き缶ごみ拾い)年4回実施 ◇嘱託医往診、理髪、体重・血圧測定 ◇誕生会、お楽しみ会 ◇週間行事打合せ、支援会議、献立会議、一斉清掃、避難訓練	

## (3) 保護者との連携

◇保護者会(総会、役員会、懇談会)を通し、保護者との連携と理解を深めた。

## IX. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。

なお、高齢者の安全安心を図るため緊急時の連絡先の確認を実施した。

## (1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
282日	80,893人(1日平均287人)	16,552,100円

## ※ 利用者内訳

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
57,060人	5,274人	7,114人	8,154人	3,291人	80,893人

【参考資料 P33】

## (2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
ウォーキング講座	18回	321人
いきいき体操講座	20回	318人
らくらくヨガ講座	20回	282人
切り絵に挑戦講座	18回	235人
お楽しみ会	1回	475人
合計	77回	1,631人

## (3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
自主クラブの利用	144回	2,257人
各種団体の利用	6回	241人
機能回復訓練の実施	40回	417人
合計	190回	2,915人

## (4) 改良、改善への取組み

- ・新型バスの導入により利用者の利便性確保を行った。
- ・売店にて新メニューを追加し、利用者のサービス向上を図った。
- ・新しいカラオケ機器を導入したことで曲数が増え、音質が良くなり利用者サービスが向上した。
- ・約1カ月の休館を伴う修繕を鹿沼市と協議の上、実施し施設の安全、安心、安定を図った。





---

## 参考資料

---

1. 会費（年度別状況）
  2. 総合福祉センターの利用状況
  3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県大会）
  4. 関連ボランティア
  5. 共同募金の状況
  6. 鹿沼市みまもり隊月別活動状況
  7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
  8. 障がいサービスの提供状況
  9. 鹿沼市高齢者福祉センター
-

### 1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)
普通会費 1口500円	22,214	11,199,243	21,697	10,930,010	21,182	10,685,565	21,047	10,626,656	20,198	10,224,198
賛助会費 1口2,000円	99	198,000	104	208,000	92	194,000	96	192,000	102	204,000
特別会費 1口3,000円	56	174,000	43	141,000	34	108,000	44	132,000	39	132,000
団体会費 1口5,000円	(72)	365,000	(72)	360,000	(71)	355,000	(72)	360,000	(78)	395,000
合 計	22,369	11,936,243	21,844	11,639,010	21,379	11,342,565	21,259	11,310,656	20,417	10,955,198

※ ( ) 内の数字は、団体会費のため世帯数合計には含まない

### 2. 総合福祉センターの利用状況

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
延べ件数 (件)	1,480	1,476	1,111	1,612	1,360
延べ人数 (人)	14,096	15,072	10,511	11,536	11,687

### 3. 社会福祉大会表彰受賞者

(順不同・敬称略)

#### (1) 第44回鹿沼市社会福祉大会

##### ①大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名		
社会福祉功労者・団体	大貫 文子	松崎 清子	船木 昇
	みなみ町さといもの会		
自立更生者	杉野 敬司	保科 幸子	
長期介護者	柏崎 景子	津久井 君江	廣田 孝
	荒川 ひろ子		

##### ②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
社会福祉推進者	神山 勝利	鈴木 一夫	戸澤 光明
	設楽 純子	寺山 正明	兼目 伸一
	廣瀬 博	古橋 桂子	
善行協助者	柴田 文子		
篤行者	鹿沼木工団地協同組合	株式会社 日晃	株式会社 安田測量

(2) 第23回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員	鈴木 洋子	備仲 征二	
共同募金運動協力団体又は協力者	矢口 有良		
社会福祉施設・団体又はその従事者	竹内 昌子	川嶋 政行	早山 祐司
	村上 裕子		
難病支援功労者	渡邊 敏久		

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
社会福祉施設・団体関係功労者	菊地 勇樹	猪野 利恵子	野口 典子
	檜山 尚幸	福田 直也	高橋 佑香
	高瀬 利恵	早乙女 秀子	吉野 仁志
	寺田 昌代	網野 倫子	池田 恭子
	山田 恵美	長谷川 由紀子	矢野 嘉子
	柏崎 実保	櫛山 とみ子	武田 紀美子
	小平 晃	八木澤 由貴子	萩谷 久美子
	古澤 美代子	瓦井 美香	中村 昌子
	濱崎 瞳	大島 奈未子	川瀬 政子
	飯田 祐子	熊倉 明美	野口 貴代美
	福田 康子	石田 和代	

③ 栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名		
共同募金功労者	鈴木 一 夫	戸 澤 光 明	神 山 勝 利
	寺 山 正 明	設 楽 純 子	鈴 木 久 美 子

4. 関連ボランティア

(1) 関連ボランティア数 団体数 31 団体

No.	名 称	主な活動内容	会員数
1	まざあぐうす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演	5名
2	水の輪会	精神保健ボランティア	9名
3	ボランティアみなみ	特養ホーム・独居老人との交流	49名
4	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流	27名
5	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加	16名
6	鹿沼そば商組合	地域福祉活動	24名
7	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手	27名
8	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者・障害者への服飾支援	6名
9	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流	25名
10	ボランティアグループ「あった会」	高齢者住居周りの修繕活動	13名
11	ボランティアふれあい	特別養護老人ホーム奉仕	33名
12	要約筆記サークルいちご	要約筆記ボランティア活動	31名
13	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流	17名

参考資料

14	おはなし会“ノア”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作	2名
15	ボランティアグループ春風	舞踊、唄、三味線	11名
16	フラダンスとりあえず	福祉施設慰問、地域イベント活動	18名
17	栃木シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動	117名
18	NPO 傾聴ボランティアチーム“ありのまま”	傾聴ボランティア	29名
19	車椅子レクダンス普及会鹿沼支部	車椅子ダンス普及活動	18名
20	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動	80名
21	立正佼成会鹿沼教会	社会奉仕活動	100名
22	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動	23名
23	さくら会	大正琴	8名
24	子育て支援サークルレインボー	子育て相談、体操等、絵本の読み聞かせ等	24名
25	災害ボランティアチームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動	37名
26	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ	17名
27	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動	18名
28	宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問	7名
29	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー制作)	7名
30	にほんご FC	外国籍市民の日本語学習等	7名
31	プリティワールドボランティアグループ	腹話術、マジック等、オカリナ、ハーモニカ、パントマイム	16名

5. 共同募金の状況

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
A募金	5,056,000	5,032,000	4,965,000	4,866,000	4,748,000
B募金	11,724,206	11,580,000	11,376,000	11,135,000	10,709,000
合計	16,780,206	16,612,000	16,341,000	16,001,000	15,470,000

A募金：第1種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を運営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B募金：第2種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

6. 鹿沼市みまもり隊月別活動状況

	65歳以上(人)	高齢者	ひとりぐらし	シルバー世帯	隊員数	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鹿沼市	27,996	2,844	2,702	374	見守り・相談対象世帯		2,625	2,744	2,707	2,721	2,711	2,682	2,643	2,634	2,706	2,704	2,609	2,606	32,092
						見守り・相談対象者数	3,421	3,594	3,499	3,571	3,563	3,504	3,476	3,530	3,488	3,527	3,438	3,263	41,874
						見守り・相談延べ回数	4,026	4,300	4,149	4,317	4,235	4,182	4,238	4,052	4,254	4,063	3,840	4,280	49,936
						内訳													
						訪問	2,361	2,576	2,461	2,532	2,521	2,489	2,509	2,641	2,714	2,572	2,347	2,733	30,456
						電話	198	127	169	166	175	134	182	187	161	177	149	232	2,057

	その他	1,467	1,597	1,519	1,619	1,539	1,559	1,547	1,224	1,379	1,314	1,344	1,315	17,423
	宅配支援対象世帯数	22	12	26	28	17	26	27	10	5	7	24	29	233
	宅配支援延べ回数	18	13	25	23	19	21	31	12	22	35	38	35	274
	その他の支援延べ回数	151	153	186	196	199	215	182	150	172	162	167	206	2,119

※65歳以上の高齢者数は、市保健福祉部高齢福祉課発行の「平成29年度鹿沼市町別高齢化率一覧表」による。

※ひとりぐらし高齢者数・シルバー世帯数は、平成28年度高齢者状況調査による

※隊員数：平成30年3月31日現在

### 7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		実利用者	利用回数 (延べ数)	実利用者	利用回数 (延べ数)	実利用者	利用回数 (延べ数)
ケアプラン作成	介護	76人	846回	106人	914回	80人	952回
	予防	7人	76回	17人	107回	12人	156回
ホームヘルプ	介護	21人	4,175回	16人	3,556回	21人	3,015回
	予防	10人	739回	16人	765回	16人	1,339回
デイサービス	介護	28人	2,753回	43人	3,035回	25人	3,081回
	予防	5人	308回	5人	354回	3人	391回
訪問入浴	介護	7人	621回	22人	462回	11人	535回
	予防	0人	0回	0人	0回	1人	1回

### 8. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	実利用者	利用回数 (延べ数)	実利用者	利用回数 (延べ数)	実利用者	利用回数 (延べ数)
居宅介護等	5人	313回	6人	415回	7人	523回
同行援護	11人	385回	8人	262回	8人	271回
指定特定相談支援	8人	4回	28人	49回	31人	31回
訪問入浴サービス	2人	124回	3人	160回	3人	196回

鹿沼市高齢者福祉センター

健康で活力ある高齢社会を目指し、高齢者自身が自主性を持って、ひとりひとりが個性を活かしながら生きがいのある日常生活を送ることは、大変重要なことである。高齢者福祉センターでは、利用者同士がお互いを尊重しあいながら、一日を楽しく過ごしている。元氣な高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援につながるような施設運営を基本としながら、気軽に参加できる講座等の各種事業を実施した。

(単位:人)

区 分	有料利用者						無料利用者			合計③ (①+②)	開所日数④	1日平均 利用者数 ③÷④
	60歳以上	60歳以上 (市外)	中学生以上～ 60歳未満	障害者	小学生	小計①	未就学児	減免者	小計②			
4月	5,527	433	638	571	172	7,341	103	63	166	7,507	26	288.7
5月	5,038	394	800	581	297	7,110	134	155	289	7,399	26	284.6
6月	5,105	405	578	545	143	6,776	96	226	322	7,098	26	273.0
7月	4,720	413	673	527	262	6,595	205	202	407	7,002	26	269.3
8月	4,819	443	1,186	550	587	7,585	238	197	435	8,020	27	297.0
9月	4,465	505	450	438	139	5,997	79	236	315	6,312	26	242.8
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11月	5,204	506	694	590	179	7,173	118	229	347	7,520	26	289.2
12月	5,346	477	484	545	54	6,906	52	225	277	7,183	24	299.3
1月	5,433	502	527	564	63	7,089	51	202	253	7,342	24	305.9
2月	5,615	579	495	588	41	7,318	61	185	246	7,564	24	315.2
3月	5,788	617	589	630	88	7,712	67	167	234	7,946	27	294.3
合計	57,060	5,274	7,114	6,129	2,025	77,602	1,204	2,087	3,291	80,893	282	
1日平均 利用者数	202.3	18.7	25.2	21.7	7.2	275.2	4.3	7.4	11.7	286.9		
寄与率	70.5%	6.5%	8.8%	7.6%	2.5%	95.9%	1.5%	2.6%	4.1%			